明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可（日刊）日曜日及祭日の翌日休刊 明治四十二年三月二十日（土曜日） 第六十二號 （一）

# 京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

## ●滿洲經營問題

十五日午後衆議會滿洲租借地に於ける金融機關設立に關する決議案委員會に於ける白仁民政長官及石井外務次官の說明左の如し

滿洲經營の大方針に就ては余の答ふる能はざる所なり然るに都督府が滿州經營の主眼として執り居る所のものは南滿鐵道の發展是なり南滿鐵道にして發展するに至れば租借地繁榮は期して待つを得べし即ち租借地の經營に至りては先づ港灣の修築市街の設備完成學校の設立等なり而して人民の生命財產の安固に至りては守備隊及び警察官の警備機關を有し出來る丈盡し居るも北は長春より南は旅順に至るまで帶の如き狹長の地域にして一歩を越せば淸國なるが故に意の如く警備をなす能はず鐵道客車中の賊に就ては都督府に於ても大に心配し居るも中には旅客をして不愉快を感ぜしむる事あるが爲に一時は最終の客車に守備兵を集めたる事あれども斯くては客車內に緩急ある場合に當り聯絡を取る能はざる等の弊あるを以て目下客の機嫌を損せざるの程度に於て警備を嚴にせんの方法を考慮中なり滿州の利源に就ては四十二年度中に於て鑛山の調査だけは十分になさんの考にて準備に着手し居れり尤も當調査は中立地帶たる復州安東縣に止め其の他には及ぼさゞるの方針なり但鴨綠江の水源地附近に於ては頗る有望なる鑛山ある由には滿鐵吏員中に之が調査をなしたるものもありと聞けり租借地の面積は開墾し得べきだけ開墾し盡すとするも七万町歩にして現人口は四十万なれば商工業者の外農民の移住は望みなく鐵道用地亦然り

是より並行線問題及び機會均等に關して石井次官は

南滿鐵道をして多大なる利益を收めしむるは即ち滿州經營の目的にして此の目的と並行し我が利益を侵害せんとするものに對しては我が國は北京條約にて得たる權利の擁護の爲に堅き決心を有し居れり門戶開放機會均等なる語は勢力範圍なる語より對照して造り出されたる語にして滿州に於ける商工業の發達を期する上に於て極めて必要なればなり云々

## 文苑

### ●苦心● 白水

何か問題を捉へ得ると直ちに之れに向つて諸種の方面から其觀察を遂げて紙に寫す而して更に之れを訂正加除する更に之れを書き直す又推敲を重ぬると欠點はます〳〵ある又更に書き直す此所になると殆んど最初の影を止めない夫れでも未だ不安心である眠る目も寢ずに又推敲を重ねる、で、漸く意に充ちた文が得られる嬉しくて眠れぬ夜の明けるのを待ち兼ねて之れを新聞社に向けて郵送するソシテ其後は新聞を見るのが樂しみの樣な苦しみな樣な一種の恐怖心を以て見るが出て居ない出ない、來る日も來るも、アレ程苦しんで書いたのに沒書とは、と泣きたくなる、モウ忘れても投書なぞはせぬと決心はして見ても又何かあると出すスルト載るサア嬉しい調子付いて投書して見るが又出ぬモウ止さうと思ひながら又出す、と云ふ風なのが僕の苦心

## 俳句

### 傚西施顰 くれなゐ

●寄す浪の音も靜かよ春の海
●多摩川や晒衣乾たる梅の宿
●田子浦三保の浦曲や霞む富士
●千年の計なり植う木の苗
●春の夜や何を忍びの袖頭巾
●先代の丹誠見ねて桃ばたけ
●生來の縹緻美しなり雛の主
●戀に狂ふ娘美くし花の山



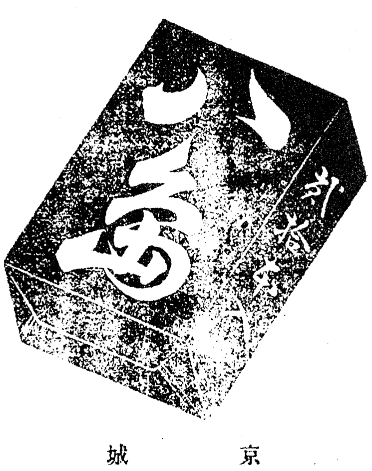
## 佐倉宗吾 （卅三） 眞龍齋貞水講演

宗「イヤ是は〳〵、宜うこそ御老体御光來下さいました 甚「イヤ御出迎ひ恐れ入つた 宗「希ぞ此方へ 甚「ハイ」と其席へ座はると煙草盆を出し、茶を汲んで來る 宗「是は三浦樣には、今日は何御用で…… 甚「宗吾殿この甚藏が態々參りましたは、些と貴下の膝を抱いて、御願ひ申したい事があつて 宗「ホ、ホー、うれは又、何事でござるか 甚「誠に御氣の毒ではあるけれども、私と共に將門山へ參り、貴下の一言を以て、怒れる百姓を宥め、村々へ引取るやう、御骨折りを願ひたいが、如何でござらう」言はれて宗吾は 宗「それは三浦殿の前ではござるが此度の事は希か、この宗吾だけは御見通しを願ひたい、なか〳〵將門山へ集つた百姓衆は、宗吾ごとき若輩の一言で、引取るなんて事は決してございませぬ 甚「サア、それである、けれども希か此の所は、此の甚藏に免じて、枉げて御足勞を願ひたい 宗「此の度の所は、宗吾の力の及ばぬ事でござる 甚「イヤ其處を何と仰つしやつても、此の甚藏が願ふのだから、希うぞ諾いて下さい、定めて私が申さぬでも、貴下は能く心得ねて御在に違ひないが、宗吾殿、惡いのは城代家老、その他郡方役人、永年の間非道な取立を致し、民を苦めること〳〵、御先代加賀守樣の御仁政に較べて、天地雲泥の相違、私も御存知の通り、彼の御先代樣の頃はひ、郡方を勤めた者であるが、イエヤ實に只今の御政道は、何とも氣の毒で、眼も



當てられない執行、去りとて殿樣は、江戸表御役中なれば、御國表の役人が、蔓るも一向御存知なく居らせられる、將門山に居る百姓衆一同が腹を立て、御城に向つて來る日になれば、死を決した百姓衆、忽ちの間に御家に瑕瑾が付き、將軍家から御人數でも繰出されぬとも限らぬ、爾うなると天草騷動の二の舞を、江戸近き此佐倉に於て演ずる事となつて、大公儀に對して相濟まぬは勿論、折角いまゝで布かれた御仁政も、終に表領給八萬石の御高に瑕瑾がつき、何も知らぬ殿樣へ氣の毒を掛けねば成りませぬ、惡人は憎いけれども、殿樣は御可哀さう、それや是やを察して此老人が、鳩の杖に縋つて、もう此上は、貴下に賴むより外に途なきを以て、此處へ來つて兩手を突き、御願ひするのでござるから、宗吾殿、どうーか此三浦甚藏の老年に免じて、御同道して下さいませぬか、お前さんなれば、實に多くの百姓衆に、人望のある御人だに依て、百姓衆は必ずども言ふことを諾かぬ限りはござらぬ、希か御苦勞ながら、將門山まで往て下されと、兩手を突いて禿たる頭を疊へ摺り付けられたるから、宗吾も氣の毒で耐らぬ 宗「マア〳〵御頭を御上げ下さいまし」と此時宗吾は、再三斷つて見ましたものゝ、私が此家へ養子に參つた頃ほひ、先代宗吾さん、御話しでは、私の家が滅亡しやうとした時に、三浦甚藏殿の情けにて、今この通りの繁昌してゐる、何事があつても、此恩は忘れるなと、云はれた言は、確かに當代宗吾の頭に遺つて居りますから「あゝ當家に取つては恩人なる三浦甚藏殿が、御主君の御爲に此家へ來て、此宗吾に頭を下げなさる、斯りや往かなけりや成るまい、宗吾の義理ある三浦殿だ、是非に及ばぬ」と思ひ 宗「イヤ、私は斯樣に御斷りしたものゝ、貴老に爾う云はれて見れば、何とも御斷り申し上げる事も出來ないに依て、兎に角、それでは及ぶか及ばぬか分りませぬが、將門山まで御供いたしませう 宗「希うか爾うして貰ひたい、是から宗吾が支度をして 宗「お美禰や、是から數に、三浦樣と一緒に、將門山へ參るから、留守を頼みますぞ 美「ハア旦那殿、御苦勞でございます、三浦殿、貴老も、御年齢を老つて居らつしやつて、斯樣に御苦勞なさるのは、誠に御氣の毒でございます 甚「イヤ是が御先代樣に對しての御勤め、何も氣の毒な事はござらぬ」





京城新報

# 須く救濟法を講ずべし

例年三月頃に至れば其氣候の溫暖なると共に商況は活氣を呈し從て金融の狀態も自然緩和し市場の形勢頗に殷盛を現はす、本年は昨年農作豐穰の好響を受けて例年よりも更に一層の好景氣を呈し來るべしとは何人も暗に期待せし所なりき、何ぞ圖らん却て例年よりも非常に不景氣にして商界は近時稀なる沈滯を極む、所謂豐年に餓死ありとの古言を現出するに至れり、之れ抑も何に原因する乎、他なし農産物の販路杜絶せし爲なり、日本に輸出すべき米大豆の如き昨秋以來相場不引合の爲に充分なる荷動なく從て相場は自然に下落し來り荷主は尙ほ資り惜み手離さゞるより出廻米は漸次堆積するのみ、之が爲に金融非常に逼迫して金巾紡績等は勿論其他一般の輸入品も更に動かず、目下の經濟狀態は頗る寒心に堪ざるものあり、殊に米穀の産地たる南韓地方の如きは最も甚だしとなす、農民は以上の如く米穀の不捌の爲に必要品さへ購ふ能はず、從て商人も唯店舖を守るに過ぎず要するに農商共に拱手して不景氣を歎ずるのみ、而して勞働を以て糊口する細民に至りては殆ど其極點に達せり、其勞働賃銀の回收せざる爲に米を購ふ能はず、眼前に米穀の堆積せるを傍觀しつゝ餓へざる可らずと云ふ、農家にして農産物の販路なき程困るものはなし、故に農業の發展を計らんとせば先づ其販路より考へざる可らず、然れども目下の經濟狀態は一の變調にして永續すべきものには非ざるべしと雖も、決して此儘に放任すべきに非ず、宜しく急速なる手段を以て之を救濟せざる可らず、然らざれば普通の饑饉と異ならざる悲境に沈淪すべし、之れ由々敷大事なり、政府として雲烟過眼すべき事ならんや、聞く所に依れば當局者に於ても今や夫々調査中なりとの事なれば必ずや相當の救濟方法を取らるべしと思ふ、されど現時の場合に於ては緩漫なる救濟手段は不可なり、政治的に漸次改善に向はしむると云ふが如きは此場合に於てなすべきことに非ざるべし、所謂兵は拙速を貴ぶ主義に依りて解決を與へざる可らず、然らずして緩漫に流るゝに於ては折角の良法も六菖十菊の憾とならん、轍鮒を枯魚の市に問ふが如きは活識ある政治家の取るべきことならんや、當局者に於ても或は既に應急の救濟方法を講ぜられしやも知る可らずと雖も庶幾くは此際敏活に救濟策を實施して悲境に沈淪せる國民を救ふと共に、沈滯せる經濟狀態を速に回復せられん事を切望するものなり、素より之が方法に就ては種々の手段あらんも其中最も敏速の手段を取りて急に應ずるを可とす、余輩は之を當局者の賢明に待望して止まざるなり

●種牛到着　日本農商務省七塚原（廣島縣下）及び月寒（北海道）兩種牛牧場より[illegible]南大門驛着直ちに韓國畜産株式會社畜場に收容されたり右シンメンタール種は獨逸國[illegible]る重大種にして體格偉大肉附き良く又[illegible]牛の改良には極めて適當せるものなりと云

## 東京電報

▲關稅增率の可決　關稅表中改正案は前回に引續き議題に上る政友會側より討論終結の動議を取消し鈴木力氏の發言を繼續せしむることゝなり審議の結果遂に大多數にて原案を可決せり（十八日發）

▲新政黨組織運動　憲政本黨常議員會にては新政黨組織に關し極力賛成運動をする事を議決せり

▲浦鹽閉鎖と新航路　浦鹽港閉鎖の爲め清津より浦鹽を經て北陸地方に輸出したりし貨物の不便を補ふ爲め政府は毎年五萬圓の補助金を支出し敦賀清津間の航路を開始せしむる筈

（以上十九日發）

## 雜報

## ●外報一束

▲英暹條約反對　暹羅盤谷「ロイテル」通信員所報に據れば印度清國及び英國人等の集會を開き英暹條約に反對の請願を爲したりと

▲サモアの叛亂　サモア土族の叛亂起り獨逸の東洋艦隊よりは叛徒を鎭し秩序を回復する爲めに三隻の軍艦を派遣したり

▲露兵波斯に入らん　倫敦に達したる報道によれば露國はテヘランに哥薩克兵を送りつゝありと云ふ猶ノウオエ、ウレーミャは強勢なる一部隊を至急波斯に派遣せんことを政府に勸告し是將に動亂の起らんとする波斯の首府を救濟する唯一の方法なり而して同地に於ける少數の露國將校は今や危殆の地位に在りと警告せり

▲中米國戰と米墨　中米サルヴアドル及びニカラグワの一共和國の間に戰端開かれたり米國政府はニカラグワ駐剳自國公使を召還せり同政府及び墨國政府は中米の平和維持の爲めに干渉するに決せり

▲清獨協約交渉　北京より確なる筋への來電によれば獨清協約交渉は北京中央政府に於て目下着々進行中なりと

▲清國鐵債協議　獨英佛諸銀行の代表者は倫敦にて會議せり是れ清國鐵道問題に就き調和を圖らん爲なりと

▲清國軍艦急派　瓊州大東沙島一名プラタツアイランドに於て日本人百餘名は日章旗を樹て在島清國人を驅逐せりとの報に接せる南洋水師提督は水雷砲艦飛鷹（排水量八百五十屯）を同島に急派せり時節柄排日感情に影響する所鮮少ならざるべしと

▲排外暴動　山東曹州府方面に排外を唱ふる暴動起り鎭壓の爲軍隊を差向けたり袁巡撫は大に之に注意し居れり

●國庫証券の支拂　明治卅八年六月第一銀行の手に於て日本の市場に募集したる一百万圓の國庫證券は其償還期限明年六月なるが韓國政府は之が支拂ふため追加豫算に計上せり而して該金の出所は曩に報道せし興行銀行よりの新借款百八十四萬磅の內より繰替へたるものなりと云ふ

●皇室債務審査會　昨日午後一時より度支部次官室に帝室債務審査會を開き鈴木會長代理以下各委員出席し殘部債務處理の審査をなせり

●起業公債の使途　昨年十一月を以て募集したる起業公債一百萬圓は其使途未だ確定せざるが今般追加豫算に於て之を決定し金融組合へ四十萬圓、農工債券引受けに五十四萬圓貸付金へ六萬圓なりと

●警務報告例の發布　從來警務に關する諸報告は其の例規の一二存するもの無きに非ざるも未だ統一的の規定成らざりしを以て今回警務局にては警務報告例なるものを定め訓令を以て發布すと

●種羊の到着　農商工部及中央農會が韓國の畜産改良のため內地より種牛を取寄せたる事は別項記載の如くなるが尙種羊六頭も該部今回別項記載の「シンメンタール」種牛五頭と共に水原に着したる由にて別項記載のものと共に中央農會に於て地方の會員に交付し飼養せしむる事とせりと

●法部所管の官舍　法部及び各裁判所職員官舍は本年度に於て次官及び奏任官用三戶裁判所六監督官用二書記部長區裁判所主席判檢事用等を建築する事となり敷地は南大門內西小門內其の他一箇所に決定したりと云ふ

●鮑罐詰製産高　釜山附近に於ける鮑罐詰業は明治三十七八年前後に存在せし罐詰業者相次で其工場を閉鎖せし爲め今は只[illegible]山の淡盛商會と釜山の加納罐詰工場のみにして最近に於ける鮑罐詰製産高は左の如し

| | 淡盛商會 | 加納罐詰工場 |
|---|---|---|
| 三十九年 | 一千函　一万一千圓 | 五百函　五千五百圓 |
| 四十年 | 一千函　一萬一千圓 | 三百函　三千三百圓 |
| 四十一年 | 一千五百函　一萬六千圓 | 四百函　四千四百圓 |

右の表を見るに年々盛大になり行く傾向あり但し一函は四打入なり

●韓人間の農事改良論　木浦金融組合にては毎月評議員會を開きて農事改良その他産業上の諸問題に就て研究することゝなり居れるが各評議員より提出する問題は其意見の區々たるは勿論なれども就中異口同音に提出するもの即ち彼等社會の輿論とも見るべき農事改良問題は

一、灌漑の便を得る爲め日本の水車を普及する事
二、桑苗の配布を急とする事
三、肥料を安價に得んとする事及び綠肥の培養を急とする事
四、荒廢の地を開拓する事
五、良好の種子を普及する事
六、虫害の豫防又は驅除法を講ずる事

●戸叶書記長の電報　戸叶書記長より商業會議所へ左の電報到達せりと

外米輸入稅引上案今日政友會の謀議を以て委員會修正案の通り衆議院を通過せり予は進んで貴族院に向ひ極力反對運動中（十八日發）

今後の運動方針に付昨日午後七時より當所に於て仁川萩谷書記、中村會頭、曾我副會頭等の集會協議を爲す

●浦鹽輸入無稅品（野菜と果物）　本邦より浦鹽へ輸出せらるゝ野菜並に果物に對し同港の自由港廢止と共に同品の輸入に課稅せらるゝとなきやに關し青森商業會議所より外務省へ問合あり右に關し在同港帝國領事よりの回答に據れば前記品に對しては從前通り依然何等の課稅あることなしと

●草梁經界地踏査　草梁に於ける日淸間居留地經界に就ては這回龜山理事官入城して事情を陳べ去る十五日より鍋島書記官委員長となり兩國の交渉委員の間に談判を開始し證査の詮議中なるが其問題の繫れる所は元山、仁川と釜山の草梁に關係し居れば急に解決するに至るまじく尙數日を要し一體の調査を終るを待ち實地の踏査あるに至るべしと

●蠶業練習所　三浪津に蠶業練習所を設定すべきもの甲乙二者あり一は眞川某にて該卒業者なり一は元韓國興業會社員たりし鹿沼某なるが資金其他設備に就ては眞川の方確實なるものゝ如し過日來釜山理事廳小笠原副理事官によりて合併を調停されあるも未だ乙者の來らざる爲め孰れとも決し居らずといふ事なり

●滿韓小荷物連絡開始　今回統監府鐵道管理局に於ては滿韓交通の發展を期する爲め先づ夫の第一着手として愈々來る四月より韓國鐵道と南滿州鐵道株式會社安奉線間及韓國鐵道を介して內地と右安奉線間に於て小荷物の連帶直通輸送を開始し尙之れが日本韓國及淸國に於ける輸出入通關手續を鐵道に於て無料代辨の委托に應ずると謂ふ由來滿州行荷物は一に安東縣に於て托送交換し殊に速達を要する新聞紙及雜誌の如き之れが爲め不捌時間を費し遲延を餘儀なくせしめられたる處右取扱開始と同時に非常に速達する事となるべし今參考として安奉線取扱驛右及哩程左に掲げん

自安東縣驛

五龍背（一六哩二）湯山城（二一、八）高麗門（三〇、四）鳳凰城（三八、五）四臺子（四五、三）鷄冠山（五二、八）秋木莊（六八、四）二道溝（五八、九）林家臺（七七、三）通遠堡（八四、七）草河口（九二、四）連山關（一〇五、二）下馬塘（一一〇、六）南坎（一二〇、二）橋頭（一三〇、八）孟家堡（一三八、〇）本溪湖（一四二、九）火連寨（一四七、三）石橋子（一五六、〇）姚千戶屯（一六四、一）陳相屯（一七一、六）渾河堡（一八二、六）奉天（一八八、七）

●青島の漁業經營　青島は日本漁船の根據地として韓國中屈指の好漁場なれば在留者日に月に增加し戶數五十戶人員二百余に到り自治機關を設け理事廳の認可を得て日本人會を設立し其事業として敎育衛生に力を盡し其着手として學校を建築し本年四月より開校する筈にて建築費八百五十圓の內二百圓を統監府より補助され六百五十圓は同會の臨時とし豫算の大部分は敎育費に支出する爲め衛生費の如きは只其項目を存するに過ぎず然るに本島は仁川港を離るゝこと百五十海里、群山港を去ること五十海里にして交通不便なる絶海の孤島なるが故に朝鮮海水産組合各支部に衛生の設備あるも其恩澤に浴するを得ず同島在留者二百余の生命を托する醫師なきが爲め不時に病魔の來襲するに際し防禦の術なきにより醫師定留の補助金下附を水産組合に申請し來りたれども限りある豫算の事なれば其要求に應ずる能はざる故四十二年度より仁川、群山兩支部に石油發動機附漁船を据ね置き何れも常傭の醫師を派遣する事としたるより爾後青島にも頻繁に巡邏船をして巡邏回航せしむることゝせりと

●群山地方蠶業一班　群山附近蠶業調査に就ては前々號本紙に連載中なるが一般概括して觀察すれば現今群山附近にて家蠶繭を産出する地方は忠淸南道錦江沿岸及び全羅北道萬頃江沿岸及び全州附近を其最とし其區域は殆んど附近十數郡に亘れるものゝ如く桑樹の分布は忠淸南道石城扶餘の二郡恩津郡江景地方を始め全州方面最も多く泰仁臨陂咸悅及び益山等之れに次ぐ是等の地方に於ては近年多少改良繭の産出を見るに至れり又家蠶繭の産地は石城、扶餘、江景、全州、臨陂、南原、任實等にして泰仁、益山、万頃等之れに次ぐと云ふ

●內地に於ける巡査募集　內部は日本にて巡査募集のため近日出張する筈なるが其募集する個所は熊本及廣島の兩縣にて廣島來月十七日熊本は十日試驗執行の筈にて京城に於ける受驗者は既に數回之れに應じたる者あるに付今回は日本にて募集する譯なりと云ふ

●視察員の交替　曩に司法事務視察のため仁川木浦群山各理事廳に出張を命ぜられたる法務院評定官淺見倫太郎氏は病氣のため同法務院檢査官草場林五郎氏更に出張せり

●憲兵分隊喞筒購入　憲兵隊に於ては火災消防用として喞筒二十個を購入し左記樞要の地に配置することゝなりたるが憲兵本部京城分隊美洞、水原、龍山、仁川、開城、咸興分隊、元山、鏡城、平壤分隊新義州、鎭南浦、天安分隊太田、群山、全州大邱分隊、釜山、晉州、榮山浦分隊、木浦に各一個宛給與せり因に全部の價格四千九百四十圓なりと

●民會豫算の認可　京城民團の豫算は愈々昨日にて全部議了したるを以て本日其筋へ向け認可の申請をなしたりき

●埋築問題委員會　仁川民團埋築問題委員會は一昨夜開かるゝ筈なりしが出席者尠かりしため流會となりたるが昨日午後より開かれたる筈

●穀物協會の請願書　仁川穀物協會にては數月前より京畿黃海忠淸の三道に視察員を派し又京義京釜の兩線の各驛にも特派員を派遣して穀物集散狀況を親しく調査し居たるが其の結果一昨日仁川日本人商業會議所の手を經て日韓米穀商百五十余名の連署を以て一の請願書を鐵道管理局に提出したり

●土木擔任主事の任命　全國十三道へ九名の土木擔任主事を置くの規定は曩に報道せし如くなるが其內四名は昨十八日附を以て任命せられたり

●郵便事務と郡主事　地方郵便事務は郡主事にて取扱ふところありしがかゝる箇所には郡主事を增員することに確定し平安北道にては既に之を實行したりと

●松井警務局長の上京　松井警務局長は本月末頃岡內部次官の歸京したる上にて上京の筈なりと

●大橋主事の出張　日本赤十字社愛國婦人會の主事なる同氏は近日元山及淸津に開かるべき赤十字社愛國婦人會委員部總會開催の用向を兼ね咸興、鏡城觀察道の同事務視察の用向を以て十九日午後十時二十分發列車にて釜山へ出發の筈なり

●水産局員の出張　農商工部水産局に於ては漁業法の實施も愈々差迫りたるに就ては之れが實施の圓滿を期せんが爲め同局員の大部分は近々各方面に向け出張の筈なりと

●國分書記官の歸任　曩に伊藤統監に隨行東上したる國分書記官は昨十九日午後八時卅分南大門着歸任の筈

●藤原書記官の歸任　群山木浦釜山の各地方を視察中なりし藤原度支部書記官は一昨夜歸任せり

●木田砲兵中佐　第十二師團參謀長木田砲兵中佐は去る十七日駐韓軍視察の爲め來韓軍司令部及龍山諸兵營等を視察し二十日出發歸任すと

●熊谷民長の上京　熊谷京城民長は京城中學校の敎師雇聘其他の用務を帶び滯在約二週間の豫定を以て來廿日頃東京に赴くべし

●草場檢察官出張　曩に司法事務視察の爲め仁川、木浦、群山各理事廳へ出張を命ぜられたる法務院評定官淺見倫太郎氏は病氣の故を以て法務院檢査官草場林五郎氏更て出張を命ぜらる

●民會議員の懇親會　京城民會議員諸氏は十八日午後七時半民會終了せるを以て花月に於て懇親の宴を張りたるが各自十二分の歡を盡し散會せり

●度支部文書寄贈　度支部は京城文庫へ財政整理報告其の他十餘種の文書を寄贈せ[illegible]

## 公人私人

▲內山彌右衛門（日韓瓦斯會社技師）一昨日來京天眞樓
▲オーコールドウエル（米人）同上
▲ヒチータベー（同）同上
▲中大路正雄（清津理事官）同日巴城館へ
▲高根信禮（木浦民長）同上
▲川地兵五（木浦理事廳技師）同上
▲宮館貞一（仁川警察署長）同日三日月へ
▲山本光三（大朝社員）同日浦尾へ
▲[illegible]爲吉（岡山縣事務官）同日密陽に向ふ

## ●近事片々

▲民長　問題も政友會は滿場一致にて否[illegible]せり多數黨横暴の毒烟は万事を覆へり嗚[illegible]
▲政友　會が否決すれば本會議に於て通[illegible]の望みなし政友會は在留邦人の怨敵なる[illegible]
▲如何　に育從が得意なれば迚自由黨の[illegible]身が民論を抑壓するとは甚だ怪しからぬ[illegible]
▲石が　流れて木葉が沈む世は何事も逆[illegible]なる無理が通れば道理が引込むと云此[illegible]
▲蘇峯　氏は曰く反對黨にして多數黨を[illegible]らんとせば盲從の美德を養はざる可らず
▲美德　も玆に至て迷惑と云ふべし盲從[illegible]美德とはテモ呆れ返る蘇峯の辭頗る鬪法
▲政府　の都合さへよければ何でも構ね[illegible]は御用記者の胸の中すまじきものは宮仕[illegible]
▲硃堂　の辨護は堂々たり蘇峯の辨護は[illegible]骨にして野卑而して硃堂は破れ蘇峯成功[illegible]
▲硃堂　傲骨にして婣諛に長せず蘇峯は[illegible]人にして婣諛追從に長ず是れ二者の相違[illegible]
▲李允　用亦も何等かの活動を始むと聞く[illegible]抑も其目的は何れにありや現閣の擁護に[illegible]
▲曾禰　子の統監昇任說ありてより韓人間[illegible]では之に對して種々臆測說をなしつゝあり
▲韓人　の現金主義は何人も知る所風向き[illegible]次第で何處に向くも勝手自由なり恐るべし
▲今尙　ほ日本の保護國外に逸出せんと目論む連中ありと聞く左りとは厄介のもの共
▲浦港　に在る韓人等團結して頻に排日熱を北韓に注入し居れりと云ふ困つた奴等也
▲李範　某なる主魁は今尙はヤンチカ邊で采配を頻りに振りつゝ有ざ噫主魁殪すべし
▲三稅　廢止案に就て島田沼南の大演說は大に世の注目を惹く亦政府に痛手を負はす
▲尾崎　學堂の雄辨は議會の珍なり近來彼は默して語らず木堂は近來大に活氣付けり
▲大石　正巳の外交演說は名物なれども本年は妙な羽目にて彼も引込勝ち惜むべき也
▲鈴木　天眼氏の活氣は議場の呼物となれり老いたりと雖も尙天祐敎時代の面影あり

# 雜報

## ●義和宮の落胤(三)

▲公爵家から養育料▼
▲村田少將と宋秉畯▼

爾うして伊藤の御前は岩倉公爵家に口利きをされたので、公爵家からは子供の養育料五千圓が下がつて來て、子供を引取る時は改めて五千圓を遣るとの約束まで出來上つた、斯く兩天秤に懸けられた子供さんの儀太郎君こそ良い面の皮である、此儀太郎君は今年五つとか六つとかで相變らず笹龍膽の紋附を着て林家に居るさうである此處に儀太郎君の事に就いて近頃面白い話しがある、去る二月二十五日の晩、宵闇を破つて車が三臺ガラ〲と靈南坂を下りて來た、其車は赤坂の田町に引入れられたと見ると、林家の前にピッタリと梶棒を下ろした悠々として降立つたのはカーキー色の軍服嚴めしい統監府附の武官村田少將であつた、其跡に跟いたのは前韓國內部大臣宋秉畯其の人と、宋秉畯の附人とであつた、林家では突然の珍客に大に面喰つたが、マア〲此方へと奥座敷に請じた、少將と宋さんとがズウッと御通になると、女將のれてつが出て來て恭々しう「珍らしいお出で」と挨拶をした、スルと少將は「實は今夜は女將に折入つて賴みたい事があつて態々遣つて來た、何と聞入れては吳れまいか」との言葉、女將は什麼言ふ願ひか分らぬながらも「身に取つて叶ひます事ならば」と尋常に挨拶した其處で宋さんはやをら一膝乘出して「外でもないが此家に義和宮殿下の御落胤がお居でになる筈、什麼かれ目通りを願ひたいが」との話しである、女將はハッと思つたが、何に喰はぬ顏で「子供さんで御座いますか、什麼かれ目に懸つて下さいまし……最早や夢暖く眠りに就いて居られた儀太郎君をアタフタと引起して、着物を着換へさせるやら何やら彼やと大騷ぎ漸く宋さんの前に連れ申したのである、宋さんは儀太郎君の顏を見ると遙かに下つて恭をしう、之れは〲御兒樣には御無事に御成人と、頭を下げた、宋さんは猶ほも摺寄つて「ふくよかな御頰から御眉の具合眼の涼しい所から御顏はせ御父君の面影に倩ても能く似させ給ひし事かな」と何か儀太郎君の顏を瞻めて居たが暫らくして宋さんは「倩て御兒の御名前は」と女將に訊ねた女將が「儀太郎さん」と申し上ぐると、宋さんは「うむギタロウ樣、ギタロウ樣、良い御名前だ、父君の御名に綾かつてギタロウ樣、女將之れからも恙なう御成長なされませ、御氣を附けて……」と果ては儀太郎君の御手を取らん許りに顏ばせを拜した、實は義和宮殿下の御胤とも、公達の君の御胤ともつかぬ、子供を宋さんは何處までも義和宮殿下の御落胤であると思込んで居ればこそ飽かず儀太郎君の顏ばせを瞻めるので、有繋の女將も今更ながら餘り事が大業になつたので、子供さんを膝の上に乘せた儘、腋の下から冷汗を流すのであつたが、其處は巧者な女だけに「之れからも子供さんには充分氣を附けて御養育致します」とお茶を濁した然るにりん子と林家に取つては此上もない客種であつた義和宮殿下は何時しか海を踰へて人蔘の出來る國へ御歸りになり、そこで例の儀太郎君は表面公爵家の落胤となつて居るが、是れは前云ふ如く伊藤公の斡旋で、又、朝鮮側に向つては村田少將迄が頻りに義和宮の落胤だと提灯を持つて居る、何れに轉んでも大丈夫なのは林家の女將であると東のたよりを其儘(未完)

## ●走馬燈の夫婦(二)

▲初めは横濱▲中は樺太▲終りは朝鮮▲女房は女郎上り▲夫は在鄉軍人▼

一度び離別を決心したる勝美は早速鮮職してマリヤに其旨告げたるに、マリヤは豫て勝美の家が富有なる事を知り居るものからダニの如く喰ひ下がつてイッカナ離れず、其處は泥水社會で磨き上げた腕前だ、ポンチの勝美が機嫌位はドンナニでも左右する力あり、如何に綾なしたかは知らされども、二人手を取つて秋風嶺を引揚げ龍山にと引越したり、そこで御馳走に成り得は助役さんである龍山に引越したる兩人は暫時元町の川本方に寄留したるも惰け性のマリヤは窮窟で溜まらず勝美を說き付けてアナタの方針の定まる迄は何處の小料屋にでも住み込み酌婦稼ぎを爲して貢ぐべしとの事に一度び離緣さへ決したる勝美なれば早速之を諾ない然らば京城邊りへ出掛けよい口を訪ねんと二人打揃つて川本方を立ち出で南大門外に來りこゝにて女は入浴を爲さしめ、自分は其足で其處此處と訪ね廻つた揚句明治町の三桝屋と云ふ小料理屋に來り主人の婆さんに事の仔細を話したるに借の要らぬ事とて婆さんも然らば本人を一度見せて下さいとの事に勝善は直樣取つて返して例の湯屋に至り女を引具して三桝屋に至りしに持て生れた美人なれば婆さんはホク〲打笑み早速承諾に及びたり然るに茲に某役所に勤務せる某と云へるが此三桝屋に來りしに日頃知り合なる婆さんは嬉びの餘りシカ〲の妓共を抱へたりと話し且つ戶籍寫しをも見せたるに原籍は信州の腰越にて下村勝美妹マリヤとありたるにぞ某は自分の妻女が同じく腰越なれば故鄉の好み事情あるものなら相當救助を與へんものと其儘自宅に歸り妻女に向ひ右の次第を物語りたるに妻女も下村と云へば有名な資產家で美勝と云へる男の子はありしも妹はなき筈、何か僞名ならん一應會見したしとの事に某は件の勝美を我家へ呼寄たるに間違ひなき下村の次男なれば相當の挨拶を濟ましさて無き筈なりし妹子とは何人の事なるやと問ひ詰められ最早匿すに餘地なければ勝美は餘義なくマリヤを根引し今日に至りし迄の事の次第を逐一物語りたり(未完)

## ●時事俳評

ちはる

△閔宮相の歸城●●●●
籔入や江戸風吹かす姉娘

△李首相の御馳走政策●●●●
さま〴〵に鳴くや蛙の雨催ひ

△井上角五郎の横道●●●●
泡吹いて蟹横走る汐干かな

△政友會の民撰否決●●●●
山吹の散るだけ吹くや春の風

△京城中學の開校●●●●
どこしへに敎へは盡きず釋奠

△義和宮の落胤●●●●
どちらへも轉んで見たり春の草

## ●商業視察の遭難

▲酒井政平の店員其他▼

京城本町五丁目雜貨商酒井政平店員山本末雄(三十)大和町一丁目五十五番地雜貨商中野政助(三十)同雲林院磯吉(三十)の三名は去る十三日商業視察の爲め京城を出發陸路新義州に到らんとし汶山驛附近迄陸行せしも疲勞に堪へざるを以て臨津江に出て夫れより水路新義州に到らんとし同沿岸に出づる道路に踏み迷ひ洞名不詳の部落に宿泊し漸く五日午后九時頃德郡領井浦に着し氏名不詳の韓人宿に投宿せしに同日午後十時頃賊徒約四十名侵入せし由主人より警告を受けしを以て一同大に狼狽し中野政助は直に同家裏より逃れ出で海岸に繫留しありし船中に潜みしも他の二名は道路を失ひ屋內を迷ひ居る內末、は山本雲林院の二名の手を取り同家物置小屋に逃れ往き同小屋の片隅に隱匿し置きしが賊徒等はやがて三々伍々室內に伴入し搜索したるも主人の庇護親切に依り辛ふじて身を全ふし危難を免れたり而して山本外二名は十六日午後一時三十分千潮にて同地出帆江華島月串洞に上陸し憲兵分遣所に右の情況を申告し甲串洞より十七日乘船歸京の途に就けり尙聞く處に依れば狼狽の結果携帶品手提鞄一信玄袋一外雜品入包一等室內に置き去りしも主人の好意にて他に隱匿し吳れし爲め何等被害なかりしは偏に主人の厚誼に依れりと

## ●樂友會の大會

京城樂友會に於ては來る四月上旬を期し大音樂會を開催する由なるが同會は客年十一月開會以來數月間休養鍛練せる事にて極めて多趣多味なる演奏もあるなるべく時恰も春風駘蕩の好季なれば定めて非常の盛況を見る事ならむ

## ●壽座の蓋明け

目下仁川歌舞伎座に開演中なる眞劇合同團三桝、西等の一行は一兩日中に當地に乘込み壽町壽座に於て例のシブイ處を見する由初日は多分二十二日頃なるべしと云へり

## ●南大門通のボヤ

昨日午前九時四十分頃南大門通三丁目裏韓人家屋より發火したるも大事に至らずして消し止めたるが原因は韓童が積重ねある枯れ柴の側にてマッチを摺つて戲れ居たる際突然燃移りたる也と

## ●一昨夜の新町

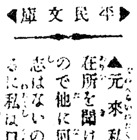
遊廓は登樓客九十五名にして消費高は僅かに四百七十九圓五十二錢此內第一樓支店の十一名と五十六圓三十錢が最高なりと云ふ

## ●朝日樓の奇特

仁川朝日樓主人福岡利吉氏は孫チセ女死去したる葬費を節約し仁川小學校基本金の中に金百圓を寄附したり

## ●韓語獨習

| 日本語 | 韓語 |
|---|---|
| 火鉢に、火は、あるか | フハーロオエイ、ブル、イッヌーニヤ |
| 炭の、火(はかり)あります | スップール、ブーニヨ |
| 喉が渴きは、致しませぬか | モムマルーチ、アヌシヨ |
| 氷水、一杯、呑みませう | ピヨンクスー、ハンクルッ、モクウブシタ |
| 早く、火を點けよ、暗いから | オーソー、ブルキヨーラ、オーツプタ |



## ◀平民文庫▶

▲元來私は蛤の在所を聞けば宜しいので他に何んにも意志はないのでした然るに私は口の利き方が下手である爲めに小僧君を怒らせたのだが惡口は小僧君の方が澤山いつたのだから之れを取消して吳れゝば夫れで文句なしだが、只蛤は一箇二錢で云々は聞き捨てならぬ二錢があらふが三錢だらうが……(食慾生)▲一寸お待ちなさい、賊味は禁物ですよ(係)▲誠に濟みませんでした、謹んで重ね〲の過言を謝します、而して蛤の在所は「市場の日の出組」の內に必ずあります現に僕は二三日前天婦羅にして食べました、終りに諸兄の配慮を多謝す(小僧)▲お芽出度ふ(係)▲昨年の赤十字總會の時の紀念繪葉書御持ち合せの方はなきや(和田生)▲又寒くなつた困つたものだ(貧乏者)▲下馱屋の娘の惡口を云ふ奴は何んと云ふ奴だ、アーメンの情夫があるなぞと口から出まかせのことを云ふな此れが京城第一の美人でなかつたなら誰れが夫れだ、僕等はナ助平根性があつて他人の娘を見るのではない美しいから美しいと云ふのだ夫れが何んで助平だ馬鹿奴下馱屋の娘さん巳れが附いてら安心しなさい(俠客)▲蛤の喧嘩が納まつたと安心した鼻ッ先きへ又下馱屋の娘の喧嘩が初まつた……困るナア(係)▲四ッ角の燒薯うや鼻汁氷ゐ(紅)▲本町二丁目のアノ人通りの多い所でシカモ狹い所を自轉車で意氣揚々とやつて來た男があつたが途に應接に遑あらずで自轉車を溝に乘り入れて打つ倒れた氣の毒の樣でもあるし心持の善い樣でもあつた(曲頭子)▲(前畧)投稿家の中には艶種專門の人ありて徒らに人を批評し其陰事を訐きて快事とやらるゝ者がある僕は強て艶艶を排斥するものではない人の不品行を警め又は墮落せしめざらんとするが如き其間に親切なる心なかるべからずと思ふ望むらくは活氣ある問題を提へて以て大に本文庫を振はしむることれ互投稿家の義務と思ふ(永樂生)▲或人は蛤問答は馬鹿げて居ると云はれる併し馬鹿げた事が罪はないので活氣を添へるのは此の馬鹿げたことにあるので理屈に合つたことに格別笑ふ樣なことはないものだ、試に見よ爺ゞ婆の話は理屈は合つて居るが活氣はないものだ僕は矢張り桃の中から桃太郎が飛んで出たと信じて居たいのだ(むら)▲むら君迄飛入りに來た、私は蛤の調停に對して力を盡されたる永樂生君に深謝する(係り)

## ●酒井政平の破綻

記事輻輳に付き本日休載

## ●天氣豫報(自十九日午後六時至二十日午後六時)

南東の風曇

十八日 最高溫度 (華氏)三九、二 最低溫度 一九、二

本日午前六時韓國氣象概況 高氣壓は韓國中部にありて區々風の吹き一般に曇天なり

業新徳用燃料 **無烟煉炭**

●特色 火付善く火力耐久價格低廉
●用途 汽鑵、暖爐、竈用に適す

周防徳山海軍省煉炭所東隣
**谷口無煙煉炭工場**

京城特約店
京城清國領事館通 電話六〇三番 **巴商會**
韓國一手販賣 京城太平町二丁目
**神田組**

▲無料紹介欄▼

人事部

用達業に多年經驗を有す給料望まず雇はれたし 姓名在社(一八五)

**求職業** 友人歳二十才普通教育あり從來外國商館に勤め商店及會社事務員に雇われたし但電話に心得あり 社內河村(一八六)

**でっち入用** 十八歳以下にして身元保證人ある者 龍山元町三電三四三日韓組白米小賣店(八三)

エムエム生に告ぐ匿名にては御要求に應じ難し(係)

**被雇たし** 裁縫の心得あり年二十七の女至急被雇たし 姓名在社(一二九)

夜間雇はれたし但し午後七時半頃より新聞配達及び如何なる勞働にても差支なし 大平町郵便受取所左込横入 前田(一九三)

歳廿才身体健全高等小學卒業身元保證人あり職業不選至急雇れたし姓名在社(一九四)

**求職** 英韓語及簿記に熟達す會社官廳等務に經驗あり身元確實 新橋通一の一沖方 伊藤睦治

物件部

旭町一丁目山の手にて風景絶佳の土地建物付にて讓り度し 姓名在社(一七五)

慈惠院近傍にて田畑二十余町歩納家二棟農具各種小作又は讓渡しの相談に應ず 姓名在社(一七七)

**貸家** 京城明治町二丁目所在二階建五間 家賃十五圓、廿圓、卅五圓 疊建具完備勝手元用水便利也 (一七八)

明治町角藤田合名會社貸家係(電話二三〇)

**貸地** 龍山青坡契(彈藥庫横)千五百坪 便利貸附仕候風景絶佳住宅向 京城北米倉町一丁目 多田質店(一八〇)

**貸家** 若松町一溫突三間半疊敷一間外に炊事場押込建具付にて極めて閑靜家賃十三圓若草町一の一二元矢島(一九一)

**呼よう電話讓渡**たし 社內中村

**京城龍山電話**かしたし 氏名在社(一九六)

**貸地** 旭町一丁目見晴よき地四十坪あり 京城清國領事館通 清韓洋行

廣告

**解雇廣告**
店員 **岩田滿次郎**
右之者今般都合に依り解雇致候自今弊店に一切關係無之候間此段廣告候也
京城明治町二丁目
**富士商會** (小杉)

讀み玉へ最も廉價なる
**大阪日報** 一ヶ月 廿錢
京城佛領事館通 **大成社**

診察所 京城理事廳前電話八八〇番
**池田内科小兒科醫院**
療養所 旭町二丁目白耳義領事館隣(元伊國領事カサチ氏跡)
統監府通信管理局囑託醫學得業士前漢城病院內科主任 **池田季雄**

**鴨綠江特種木材 九州セメント 取次販賣**
末口一尺八寸以上長さ五間迄其他各種材
京城旭町三丁目
**建築業 柴田芝六** 電話五六八番



本社ハトルコ最大煙草製造會社ニシテ其製品ハ原料精選其風味ハ良好無比ナレバ夙ニ世界各國ニ最多ノ輸出ヲナシ好評ヲ以テ迎ヘラレツヽアリ卸小賣トモ廉價ニ販賣仕候
●**土耳古煙草直輸入大販賣**●
**デーエス、パチリス會社出張所**
京城本町四丁目角 **穎原兄弟商會**
仁川港本町通 仁川代理店

**破天荒の大安賣出し**
時下餘寒尚難凌の候四方各位樣益々御清榮奉賀候弊店儀御蔭を以て日に增し隆盛に赴き誠に難有奉多謝候就ては平素の御愛顧に酬へん爲め本日より向ふ**一ヶ月間**を限り**正札より貳割引**の大廉價を以て販賣仕候間何卒御購求の榮を得たく候也
明治四十二年三月一日
京城本町理事廳前 **富田製靴本店**
同 本町六丁目 **同 第一支店**
同 南大門外 **同 第二支店**

諸官衙御用品調達
**營業科目**
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類
各學校御用品調達

委托販賣
東京ランバーグ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
釜山鎭鹽合資會社食鹽特約店

**藤田合名會社**
本社 京城明治町二丁目 電話二三〇番
出張所 東京京橋區南一丁目十七地 電話新橋三九六二



**精良石油賣出廣告**

**旗票石油は**
光力强度鮮明なり
容器美麗堅固なり
容量充滿なり
無色透明なり
臭氣極少なり

各位愈々御繁榮大慶至極に奉存候今般弊社の出張所を當國に設け旗票と稱する最上等石油を輸入し精々廉價に販賣致し候間御試の上精々御購求の程偏に奉願候 敬白

**ライジングサン石油株式會社**
**韓國出張所**

特約販賣店
仁川本町四丁目 **仁川英油組合**
仁川海岸通二丁目
釜山本町二丁目 **釜山英油組合**
京城本町三丁目 **京城英油組合**



詳細なる營業品目錄及び寸法用紙御報次第御送呈す

流行の……
甲革材料は柔軟にして丈夫なるクローム……ボックスカーフ
……代金引換小包にて……

電話新橋三四二番 振替貯金口座二一六番 東京市芝……下町
**龜田靴商店**

**醇良清酒 澤龜**
大阪府堺市
宅合名會社釀

**西洋料理**
**東京高輪壽し**
**會席料理**
**丼類いろ〳〵**
**折詰辨當**
**同サンドーウヰッチ**
南大門停車場構內
**エーテー澗田** 電話六八七番

**九州セメント**
今回大割引を以て販賣仕候間御用命被下度候
京城南山町一丁目電話三四四番 **山村商店**
龍山元町二丁目電話三二二番 **林藥店**

○**建築業** 京城本町七丁目別府…… **中川卯之助** 電話六九一
○多年の經驗にて建築の完全を期し料金は便宜御相談可申候也

公債 貯蓄 勸業
**債券讓受**
御不用の御方は各號共精々高價に讓受くべく候
京城長谷川町一丁目富田屋內 電七二番

高等 **待合 紅葉**
京城南大門通三丁目 起業會社筋向
閑園頗る閑雅にして清遊に適し候

▲**親切の下宿**▼
**かめ屋**

▲**清潔の下宿**▼
客室の清潔と調理の美味と御設の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々數御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戶橫小路(元花屋跡)



**診療開始**
弊院曩きに類燒の災に罹り休業中の處這般南山町二丁目植村病院全部を讓受け三月一日より診療開始仕候
南山町二丁目 植村病院跡
**松岡醫院** 電話六七五番

**漬物 味噌 醬油 製造元**
特約販賣 自製
**大上商店**
京城本町五丁目 (電話二五一番)
和洋酒、④精酎、穀物麵類、銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣
尙御望に依り商品切手調進仕候

西洋御料理宴會
**京城ホテル**
京城南山町三丁目(電話一二三番)

株式會社 **第一銀行韓國總支店**
電話番號
第一番 國庫部、發行部、營業課、當直用
第二番 國庫部、發行部、營業課用
第三番 支配人、調査部、文書課用
第六十二番 用度係、分析所用
第三三二番 臨時建築部用

本地 東京市日本橋區兜町
支店 大阪、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關
出張所 京都、伏見、東京新大阪町
韓國 支店 仁川、木浦、群山、平壤
出張所 釜山、元山、鎭南浦、馬山、鏡城
清國 安東縣 出張所 開城、城津、成興
右の外內外各地重要なる場所には爲替取引先あり營業事務に關する御用向は當店營業課長に御相談被下度候

明治廿年創立資本金一千萬圓
**東京火災保險株式會社**
日本國火災保險業の嚆矢
代辨店 山口吳服店
事務所 京城本町二の三電話九番



**會席御料理**
本町八丁目 **富士見樓**

**三二一館**
然心單志多年爲……
奧旨恍然似有得者……
京城本町五丁目
易斷觀 三二一館
相數授 ……
通信判斷一件 一圓特別二圓

◎**氣候變化** 牛乳
◎**牛乳** 純良消毒
**韓國畜產株式會社**
南大門外(電話八八……)

**統監府御用**
**諸官衙人力車**
**荷物荷造及運搬**
營業 京城曙町(電話七三……)
本店 同本町三丁目(電話四〇……)
**伊藤組**

**銘茶** ……
京城……

**日本郵船株式會社**
**瀛川出帆廣告**
仁川海岸通 貨物及船客取扱店 **郡回漕店** 電話三九……

●大連行(船客御斷)
新潟丸 三月二十三日正午時……
●釜山長崎門司神戸行
山東丸 四月十一日後三時……
●大連、太沽、牛莊行
高砂丸 三月……日正午時……
●大連、太沽、牛莊行
山東丸 三月三十日前五時……
●大連、太沽、牛莊行
酒田丸 四月八日正午……
●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行
立神丸 三月……日午後……
御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎艀ニテ御送リ可申候送迎艀ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ス……

●新聞料 一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月……▲郵稅一ヶ月……
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回四十錢▲……
發行兼編輯人 秋山忠三……
印刷人 高木久島……
發行所 京城西署西小門通 京城新報社 電話六六三……